

平成31(2019)年度 江戸川区立松江小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	「かがやき」力いっぱい笑顔いっぱい松江の子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	目指す学校像・明日登校するのが待ち遠しい学校 目指す児童像・よく考える子・思いやりのある子・健康な子 目指す教師像・子供たちの明日を考えた指導ができる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ○問題解決学習や探究的な学習を基盤にした授業改善 ○校内研究による学校図書館活用の充実 <課題> ○基礎・基本の定着や更なる学力向上 ○小中連携スタンダードを基にした指導の徹底		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	中学教員による陸上指導2回、中学生読み聞かせ1回、授業公開による教員研修、小中連携スタンダードに基づく生活指導の機会を設定各学期1回	健康生活カードの小中連携スタンダードの項目による「健康貯金」75点を超える児童が80%	A	B	小中連携スタンダードに基づいて、4校でカードを統一して指導を徹底してきた。小中連携の意識が高まってきている。75点の児童が80%を超えることができなかったため次年度に生かしていく。	A	健康生活カードなどは良い取組であると思う。小中学校のスムーズな連携のために小学校の時の情報を丁寧に引き継いでほしい。	小中連携協議会の継続的な実施と指導の徹底
	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上、外国語・体育の指導技術向上に向けた研修会	ICT補習教室の実施、教員ICT研修年3回実施、実技研修年間8回実施	高学年のPCによるプレゼン作成、教職員のデジタル機器の授業利用率向上、外国語・体育指導の技術向上	A	A	指導技術向上に向け、教員研修を実施した。また、6年生が総合防災訓練において、プレゼンテーションソフトを使った発表を行った。	A	6年生の総合防災訓練での発表は素晴らしい。先生方の研修の取組を聞いて感謝している。来年度のプログラミング学習の導入にも積極的に取り組んでほしい。	教員研修の更なる充実。特に外国語やプログラミングの指導技術向上を図る。
教員の資質向上	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援学級との交流及び共同学習の充実、高学年児童のスクールカウンセラーと児童の面談実施、エンカレッジルームの活用	Q-U結果において、要支援群の割合減少、特別支援(インクルーシブ教育)への十分な理解	B	B	要支援群の割合はほぼ変わらなかった。特別支援研修を実施した。エンカレッジルームの活用規定を明確にし、児童への対応を円滑にできるようにした。	A	エンカレッジルームの利用、スクールカウンセラーとの面談など学校が日頃より丁寧に子供たちの心に寄り添ってくれていることが分かり、有難かった。	エンカレッジルーム活用の拡大と充実
	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習年間35回の実施、学力アップタイムの計画的な実施、学びのスクールの実施、完全習得計画の立案によるきめ細やかな支援	国学力調査・都学力調査…区平均を上回る、診断テストで100点を80%到達	A	B	学力調査結果において、国・都の平均に及ばなかった。言語の知識理解の項目において都の平均を上回った。診断テストで100点を80%に満たなかった。	B	様々な取組をしても学力の全体的な底上げは難しいのだと感じた。今後も取組を継続してほしい。	完全習得計画の活用と補習との連動
いきいきと学ぶ教育の充実	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	読書科校内研究授業各学年1回実施、学校図書館蔵書の見直し	高学年児童の調べる学習コンクール出席率70%、学校図書館を利用した調べ学習の年間10回以上の実施	A	A	高学年の調べる学習コンクールへの80%の提出を達成。学校図書館の計画的な活用により、10回以上使用した。	A	校内での研究で読書科に取り組み、成果を上げていることがよく分かった。蔵書は毎年少しずつ増やしてほしい。	学校図書館の蔵書数の充実 年間指導計画の見直し
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	休み時間を活用した運動遊び年35回の実施、体力向上に向けた全校取組 年3回実施	体力調査において江戸川区の平均値を上回る。運動に対する関心を高める。	A	A	体力調査で江戸川区の平均を上回る。	A	体力調査で子供の体力が向上していることがよく分かった。今後内容を精査して質を高める工夫ができるとよい。	運動遊びの更なる充実
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	体力向上に向けた全校での取組(力いっぱいタイム)3回、マラソン、なわとびアタック計4週間、生活リズム向上習慣年3回、オリパラ掲示板の充実	オリンピックに対する児童の関心の向上、体力調査…江戸川区の平均値を上回る	A	A	各教科で取り扱うなど、オリンピックの関心を高める指導を行った。体力調査で江戸川区の平均を上回った。	A	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて関心や意識を高める取組はぜひ行ってほしい。聖火ランナーの応援もぜひ取り組んでほしい。	オリパラコーナーの充実
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	授業力向上に向けた教員研修の実施、年間指導計画の見直しによる実態に応じた指導、ALTによるネイティブの発音に触れる機会の充実	外国語授業の高学年70時間・中学年35時間の確実な実施、学年の実態に応じた簡単な英語を使ったコミュニケーションができる児童が各学級70%	B	B	簡単な英語でのコミュニケーションをとれるような授業改善をした。	B	先生方は様々な取り組みをされているが、まだ地域や保護者には届いていない気がする。もっと発信をしてもよいと思う。	ALTとの連携強化 外部への情報発信